

ENRIQUE PENALOSA

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Twice-elected Mayor of Bogota
- Leading Sustainability and Mobility in Cities Advocate
- President of the Board of the Institute for Transportation and Development Policy of New York



Enrique Penalosaは都市開発の分野のリーダーであり、そのビジョンと提案は世界中の政策に大きな影響を与えてきました。彼の助言業務は、持続可能性、機動性、公平性、公共空間および生活の質に集中しています。そして、アイデアをプロジェクトや現実に変えるための組織やリーダーシップの要件。Penalosaは環境、都市デザインと政策、そして大学を含む多数のフォーラムで国際的に講義をしました。彼はアジア、アフリカ、オーストラリア、ラテンアメリカ、そしてアメリカの政府に助言しています。

彼は現在、都市ビジョン、戦略および政策に関するコンサルタントです。彼はニューヨークのITDP（交通開発政策研究所）の理事長です。CITISCOPEの取締役会のメンバー。ロンドンスクールオブエコノミクスの都市プログラム諮問委員会のメンバー。ニューヨークのMTA（Metropolitan Transportation Authority）運輸再発明委員会のメンバー。ペンシルベニア大学都市研究所の学者。

Topics

- Cities
- Leadership
- Politics
- Society
- Transportation

1998年から2001年までボゴタ市長を務め、2014年にはコロンビア大統領候補に就任しました。700万人のコロンビア首都ボゴタ市長として、ペルーロサは都市を大きく変革させました。生活の質、機動性、公平性および持続可能性の向上のための国際モデルを尊重または希望し、とりわけヴェネツィアビエンナーレのゴールデンライオンやストックホルムチャレンジなどの重要な国際的評価を授与されています。